



## 二部地区に地元食材を活かした 食品加工グループ「つくしの会」誕生！



インタビューの様子

子どもは社会の宝 地域の子どもは、地域で見守り育てよう

この春、伯耆町二部地区に誕生した女性の食品加工グループ「つくしの会」を訪ね、会長の影山千世子さんを始め、5名の会員の皆さんにお話をうかがいました。

活動のきっかけは？

つくしの会さん 二部地区を元気にしようという目的で活動されている二部地区活性化推進機構が取り組まれている「ふるさと小包」に入れる加工品を「なんか考えてござんかや。」と依頼されたのがきっかけでした。

地域を活性化するには女性が元気になるなければと思って、これまで暮



心をこめてつくる

れ市や山菜賞味会などを行っていましたので、そのメンバーを中心に8名で駆け出し、スギ根が広がるように期待を込めて「つくしの会」とネーミングしたんです。

どんなものを作られますか？

つくしの会さん 3月に試行錯誤しながら「焼肉のタレ」を試作したところ、美味しいと評判が良かったので自信がつきました。この夏の「ふるさと小包」には、このほか山椒味噌、ネギ味噌、かりんとう2種類を考えて準備を進めています。

苦労されたことは？

つくしの会さん ここには加工営業許可を取っている施設が少なく、「焼肉のタレ」を作るのにソーズ類製造業の営業許可が必要ということで慌てましたが、関係機関のご支援、間地自治会さん

のご支援、間地自治会さん



つくしんぼうの美味しい「焼肉のタレ」

のご理解をいただいで「ふれあい会館やまじ」を加工施設として使わせていただけることになり、ホッと安堵しました。許可を取るのが大変でしたが、皆さんにお世話になって難関がクリアできました。感謝、感謝です。

製造・販売の拡大は？

つくしの会さん 活動が緒にいったばかりで、資金も会員のわずかな手出しで始めましたので、一気に製造や販売を拡大できません。まず、「ふるさと小包」で少し儲けさせていただいで（笑）、それから徐々に拡大して通年販売にも取り組むた

いでですね。  
6次産業化ということで、生産・加工・販売までを小規模で継続して取り組むことはきついです。が、町や県にも相談しながら良い方法でチャレンジし続けたいですね。

今後の抱負や願いは？

つくしの会さん 地元産材にこだわり、無添加で美味しいです。1回食べるとみてほしい。輪を広げたいので、若い人を募集しています。一緒にやりませんか。

感想 取材をとおして感じたのは、地域の活性化に少しでも貢献したいという皆さんの熱い気持ちでした。活動の輪が広がればいいですね。

「議会だより」に対するご意見をお待ちしております。

つくしの会のお問  
い合わせ・取り次  
ぎ先  
0859  
(62)7159  
二部公民館内

### 編集後記

政府が進めるTPP「環太平洋連携協定」。先の六月議会では、日本のTPP交渉への参加反対の陳情が賛成多数で可決「採択」された。農業は関連産業の裾野が広く農作物を生産するだけではなく、国土保全や環境保全などの多面的機能を持つ。それを守ることは当然だ。

例えば、砂糖の原材料であるサトウキビは、日本の国境周辺に位置する沖縄など南西諸島の基幹作物だ。これが衰退すれば、島の生活も成り立たず、領土、領海、領空の保全にもかわる。

乳製品も品質の差がなく、関税障壁で守らなければ大打撃を受ける。私たちは今こそ政治を監視したい。

(乾 裕)

### 【編集】

議会広報常任委員会  
委員長 勝部 俊徳  
副委員長 杉本 大介  
委員 渡部 勇  
委員 篠原 天  
委員 永井 欣也  
委員 乾 裕



この議会だよりは再生紙を使用して印刷されています。